「こども・若者の自殺対策～つながり、支え合う社会に向けて私たちができること～」

# 街中の若者の居場所
## ～AIKURU FREE BASEの取り組み～



NPO法人AIKURU
村野裕子

# 自己紹介

## NPO法人AIKURU
## 村野裕子

保育士･幼稚園教諭･早期発達支援士

NEAL自然体験活動指導者



### 乳幼児親子～
### 青少年との関り

NPO法人AIKURU代表理事
（埼玉県入間市）




### 自然との関り

ねいちゃ～はぴはぴ

冒険あそび場いるぱーく



### その他いろいろ

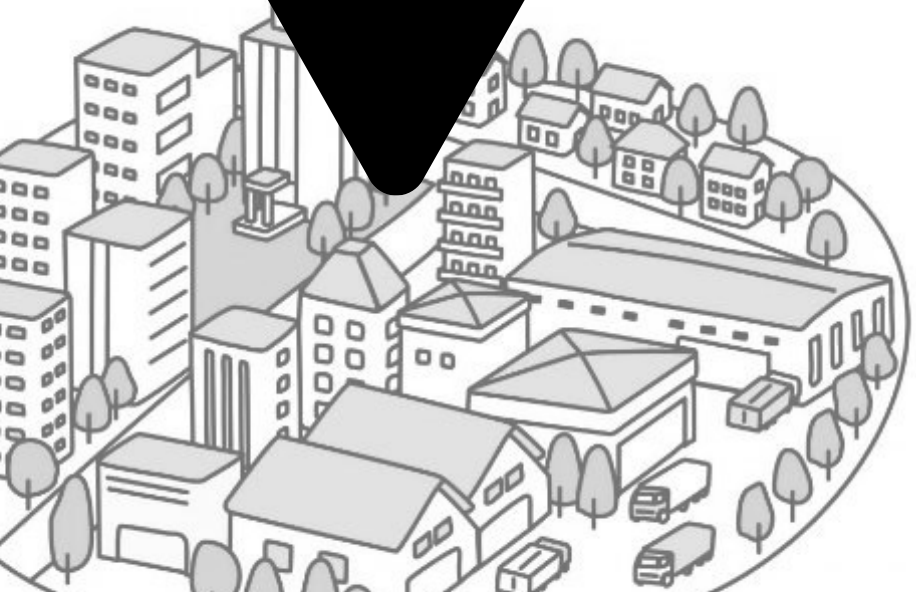
こども食堂ネットワーク
いるま会長
入間市社会教育委員
こども･子育て審議委員
放課後こども教室協議委員
スポーツ推進審議委員
入間市地域福祉活動
計画進行管理委員
埼玉県こどもの居場所
アドバイザー

# NPO法人AIKURU







街中にある乳幼児親子のあそび場
市内に8カ所あり
年間約3万人の親子が遊びに来る



# NPO法人AIKURUの取組

2004年より

子育て支援センター

公的な取組がない

2020年頃より
若者本人からの相談増



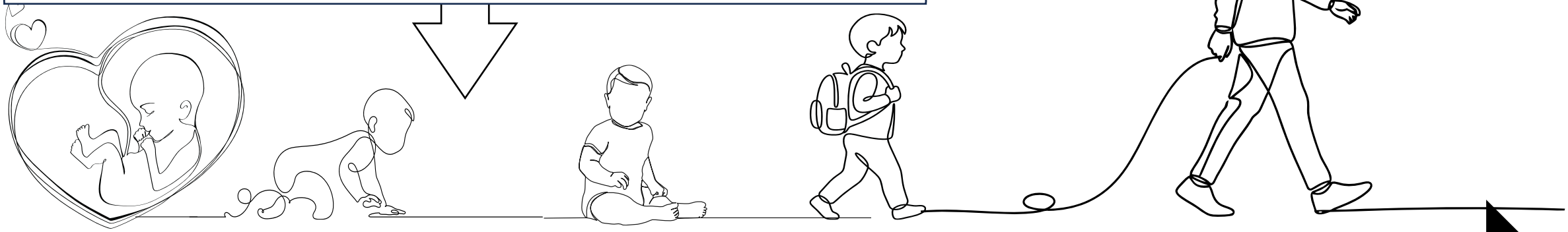




親が離婚
するって

学校行って
ないんだ

手首
切っちゃった



妊娠期　赤ちゃん期　幼児期　児童期　青年期

# 日本の若者支援の課題

## 継続性のない支援

- 若者が抱える課題は成長と共に変化する
- 学校・福祉などの支援が縦割りで行われる

困難が深刻化してから支援につながる「事後的支援」が中心となってしまう

## 居場所不足

- 児童館や子育て支援センターは、法制度と財政支援が整備されている
- ユースセンターは法的な設置義務がなく制度上の位置づけも弱い

自治体での整備が進みにくい

## 自殺率の高さ

- 日本の10～20代の死因の第1位は自殺である
- 2025年の小中高生の自殺者数は538人
- 背景には、学校問題や家庭環境、将来不安、孤立など複合的な要因がからむ

相談先が見つけにくい

# NPO法人AIKURUの取組

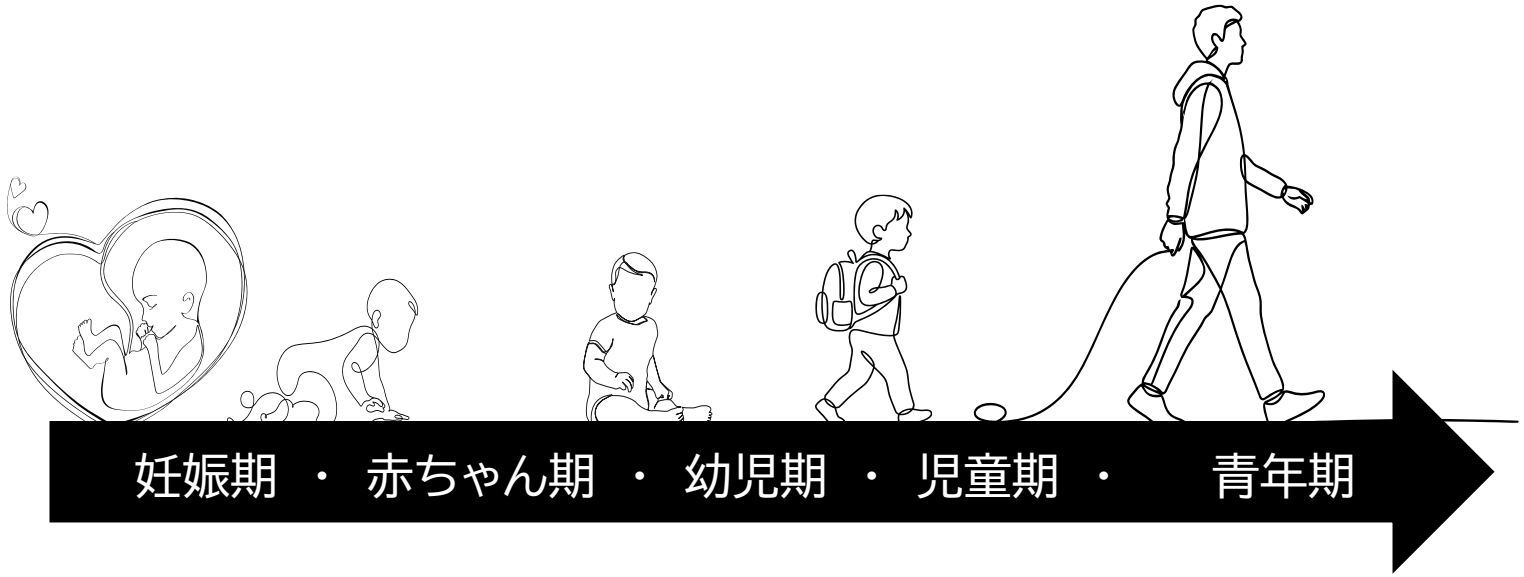
子育て支援センター
あいくる

**青少年の居場所**
**AIKURU FREE BASE**

学校・教育機関

行政機関

地域の皆さん



妊娠期 ・ 赤ちゃん期 ・ 幼児期 ・ 児童期 ・ 青年期

こどもに対する継続した支援＋地域との繋がり

# 若者の居場所AIKURU FREE BASE

毎週金曜日17時～21時・申込不要・参加費無料
場所：子育て支援センター

## オスキニドウゾ



2つの合言葉

## ダレデモドウゾ



# 若者の居場所AIKURU FREE BASE



調理



夕食

# 若者の居場所AIKURU FREE BASE



音楽



ボードゲーム



おしゃべり

# 若者の居場所AIKURU FREE BASE



語り合い




パントリー

# 若者の居場所AIKURU FREE BASE



学習



地域の大人達

# 若者の居場所AIKURU FREE BASE




自主的なイベント



専門家企画

# 予防領域へ有効なアプローチ

阻止するべき最重要課題

自死

重度
要：社会的養護

中度
要：早期対応

軽度
要：早期対応

発生予防
要：予防的支援

全てのこども
要：ポピュレーションアプローチ

専門的支援

予防的支援

**AIKURU**
**FREE BASE**

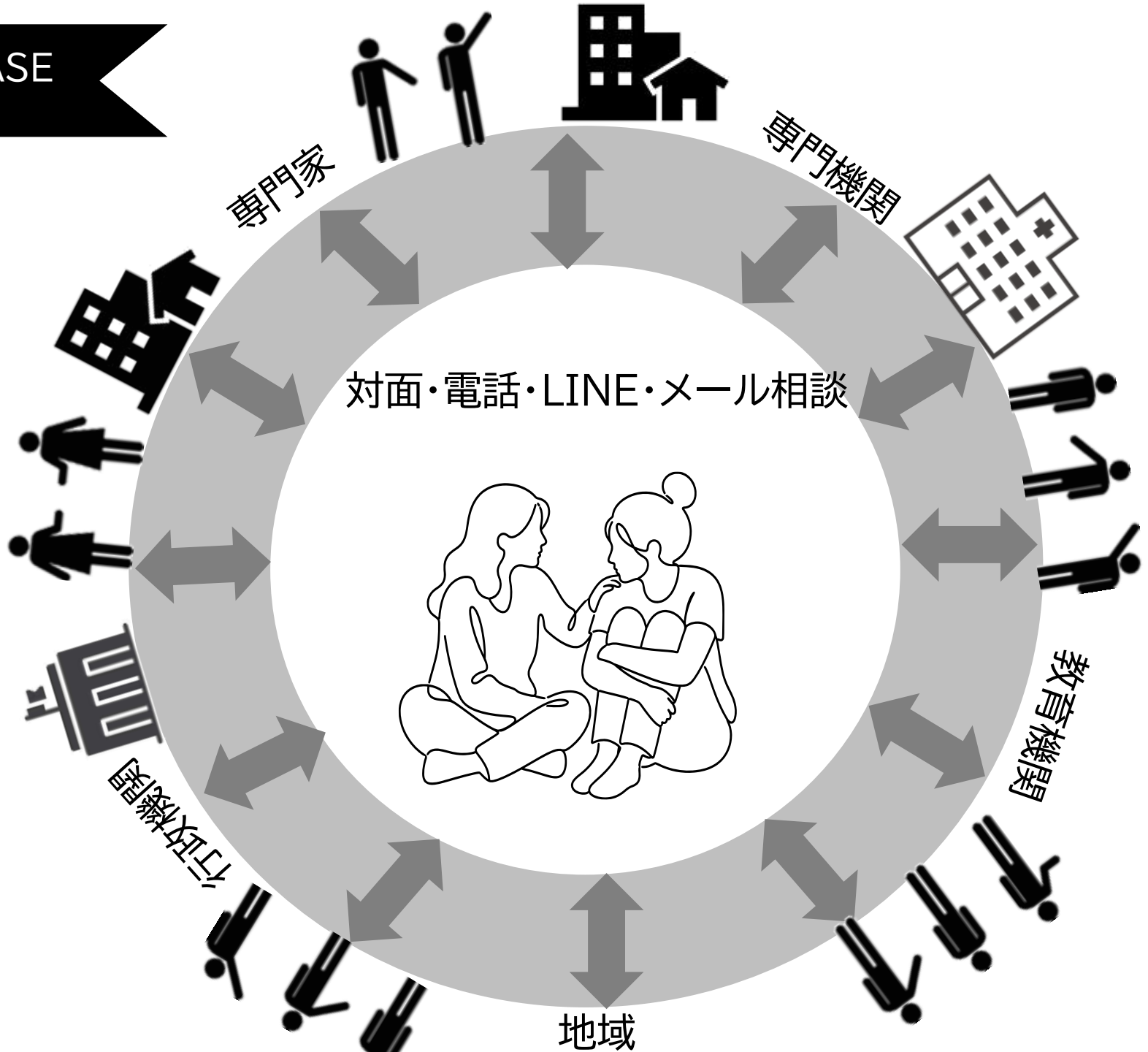


AIKURU FREE BASE
大切な業務

**相談**

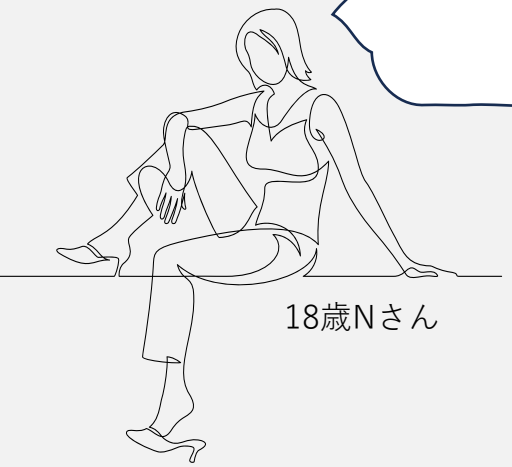
↓

**自殺予防**



# AIKURU FREE BASE
## 相談の事例

傷がないと
不安なんだよね



18歳Nさん

自分なんていなくても
誰も気づかないと
思います



17歳Kさん

身体の中に「死にたい」
ってプログラムが
入っているんだと思う



16歳Tさん

# AIKURU FREE BASE
主な連携先

## 専門家



産婦人科医

保健師

精神福祉士

## 専門機関



病院

警察署

児童相談所

## 教育機関



市内中学校

市内及び近隣市高等学校

支援学校

教育センター

## 行政機関



入間市役所

・こども支援課
・青少年課
・生活支援課
・福祉総務課

## 地域



金融機関（銀行・信用金庫）

地域の大人達

地元企業

# AIKURU FREE BASEスタッフは
# 若者達と共に在る人でありたい



挑戦中！

2025年8月～2028年2月　休眠預金活用事業

# 若者の自死を防ぐ地域社会の構築

## ～若者の居場所AIKURU FREE BASE実践からの発展～



人的課題



他機関との連携



資金不足

自死を防ぐために必要なのは『こどもが居る場所』ではなく、『こどもが関係を構築することが出来る人が居る場所』であり、その継続が必要である

私達は「若者が自死を選択しない地域社会」を作るために
多くの人々と手を取り合っていきます

ご清聴ありがとうございました



NPO法人AIKURU
村野裕子